

2023 年度 学校法人 三幸学園 大阪ウェディング＆ブライダル専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 佐藤 俊介

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて、日本そして世界の家族を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNo. 1のプランナー・コーディネーターとなる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

◆教務について

【退学率】

退学率 5.5%以下を目標に定め低減対策を行ったが、結果として 8.9%(44 名)の退学率となった
44 名の内訳：1 年生 41 名(ウェディングプランナー科 26 名、ブライダルヘアメイク&ドレス科 15 名)
2 年生 3 名(ウェディングプランナー科 2 名、ブライダルヘアメイク&ドレス科 1 名)

【主な理由：目標喪失、進路変更の結果】

- 目標喪失と進路変更は例年と変わらない結果
- 退学時期は例年と変わらない傾向(新学期が始まる前のタイミング 9 月・3 月)
- 時代に合わせた生徒へのアプローチが出来なかった(通信制高校卒業・心が弱い生徒)
- 目的意識が低い生徒へのアプローチが弱く、再度目標を持たせることが出来なかった

【退学率低減に対する対策】

- ・ 2023 年度、2 年生はクラス担任制、1 年生はチーム担任制に変更した。
理由として、全国的にも 1 年生の退学率が高く、生徒の相談窓口を増やすため、教員の雇用形態(時間短縮)に関わらず担任を持てるようにするため。
結果、生徒の相談窓口が複数になったことで退学の兆候を事前に察知することが出来た。しかし個へのアプローチが上手いかず退学防止出来るケースも少なかった。
- ・ 本校独自のアンケートを月 1 回実施し、生徒の心境をヒアリングした。アンケート結果に合わせて個別面談を行った。(希望教員との面談)

- ・ 「教育の質向上」を目的に、月1回の担任力向上研修の実施、目標喪失からの退学者を軽減するため、学校全体で授業アンケートの「授業テーマは明確か？」という項目に注力し全体会議で手法や、好事例を紹介し全教職員に伝えた。（全国平均には及ばなかったが、昨年より数字は上がった）
- ・ 例年、夏休み明けに退学希望者が多く出る為、夏休み期間に『学校』から離れすぎないように教員 SNS を発信し生徒の興味を惹くよう努め、希望者のみでクラス会（何でもお悩み相談会）を実施（先輩も巻き込んだ）した。
- ・ TIKTOK に教員動画を UP し、生徒の興味を惹かせた。
- ・ 新1年生が目標喪失や、初心を忘れないように、初回登校日で作成した「エールメッセージ」を廊下に掲示。
- ・ 講師と生徒の情報共有は、OneNote を使用し共有。更新したことを講師に伝えタイムリーに生徒状況を把握出来るようにした。（更新頻度週1回）
- ・ 後期退学者の低減をするために、クラス替え時に実施するオリエンテーションではグループワークを多く取り入れ、心理的安全性を重視した内容にした。
- ・ クラス編成の強化。例年より交友関係、学力に差が出ないように担任で MTG の時間を設けた。（例年は学力に着目していなかった）
- ・

◆就職について

【就職決定率：99.4％】

- ・ 就職希望者数 183 名に対して、182 名の就職が決定となった。
- ・ 現在も前担任と企業担当でサポートしている。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

新入生保護者説明会をオンデマンドで開催しており、アンケートの満足度は高いが視聴数が少ない。
（視聴数:新入生の半数程度 126 名）

② 今後の改善方策

例年 2 月頃に案内し、3 月視聴開始、4 月末視聴終了としているが、「保護者説明会がオンデマンドであること」を早目に周知しておく。入学してくる高校生にもLINEにて一斉案内をかけていく。
入学後の登校日などで生徒へも保護者様に見ていただけるよう促す。

② 特記事項

・保護者には、オープンキャンパスの保護者会で教育理念の周知、在校生には、行事、日々の授業での周知を実施している。（スタートアッププログラム・未来デザインプログラム・新入生保護者説明会・オープンキャンパス保護者説明会 PPT スライドにて実施）

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・ 昨年度に引き続き、業務効率化が課題である。
- ・ 学園全体としてのシステム整備は進み、部門内でも効率化を図られてきたが、現状の残業などを鑑みると改善する必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ 劇的な業務改善(減少)は出来ない為、教職員一人一人の意識を上げていく。月 42 時間以内になるよう全体の残業時間の見える化をするとともに、中間報告を入れる対応を実施していく。

③ 特記事項

- ・ 地区・部門アクションプランに沿って、日々の業務を運営している。組織体系、意思決定機能は部門ガイドラインに記載し、会議でも全体へ周知をしている。
- ・ 人事、給与等は就業規則をどの教員も見られるように設置。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

・全体的に実施、工夫はされているが、最終的に生徒からのアンケートを見て全国姉妹校とのアンケート結果を比較すると「授業のテーマは明確か」「授業の工夫はされている」といった項目が、全国の平均値に届かない教科もある。

・全教職員の授業力向上が課題

② 今後の改善方策

・授業の進め方アンケートで結果が出ていない教員の底上げができる様な実践研修
 ・全国姉妹校の授業データの収集

③ 特記事項

実績・月に1回、常勤教員の研修を実施

・半年に2回、好事例共有などの共有の場を設置
 ・半年に1回、非常勤講師も含め研修会を実施

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

退学率、行事出席率、検定合格率においては、結果まで至っていない。結果に直結する施策を講じていく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・キャリア探究活動にて目標喪失を防止
- ・クラス替えを極力なくし、心理的安全性を確保
- ・早期面談、アンケートを活用し退学予備軍の早期発見、未然防止
- ・時代に合わせたマナー・ルールの見直し
- ・行事への動機づけを入学直後に実施
- ・行事応援動画の発信
- ・上級生と下級生が交流する機会を設置
- ・検定 WEEK、補習の実施
- ・自習室を開放

③ 特記事項

- ・退学率 8.9%（同分野全国平均 8.2%）
- ・校外実施行事の出席率低下
ブライダルコンペティション 77%
- ・検定12個の内、半数は検定合格率向上,半数は減少

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・就職活動の早期化(準備期間の確保)
- ・業界外就職者、インターンシップ未選択者の増加
- ・卒業生、中途退学者への求人案内

② 今後の改善方策

- ・1年生前期時点の就職イベント実施
- ・業界内魅力付けを目的とした外部講話実施
- ・キャリアマップ(就職活動のためのアプリ)の導入
- ・WEB 履歴書の導入
- ・卒業生 LINE、同窓会アプリ、キャリアマップを活用した求人票紹介

③ 特記事項

- ・週に1度就活対策授業の実施
- ・定期的な就職イベントの実施
- ・先輩講話の実施
- ・心の相談室の案内
- ・チーム担任制の導入
- ・インターンシップにむけて対策授業の実施
- ・企業担当によるインターンシップ説明会・校内企業説明会の実施
- ・就職未決定者の保護者への電話がけ

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

避難訓練の実施(コロナ禍に伴う集団行動の制限)

② 今後の改善方策

- ・オンデマンド科目の増加(2025 年より 6 教科)、分散登校の実施
- ・ハザードマップを用いた落とし込みと避難場所の周知

③ 特記事項

特になし

(7)学生を受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

近年高校生にとって多種多様な学び方がある中で、どの高校生にも分かりやすく端的にウェディング・ブライダル業界の魅力が伝わるよう、地域広報室と連携をとりながらオープンキャンパスや高校ガイダンスを実施している。

② 今後の改善方策

デジタルパンフレットや現場ムービーなどの作成と活用

③ 特記事項

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

特になし

【予算・収支計画】

特になし

【会計監査】

特になし

【財務情報の公開】

特になし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023年度～2027年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

特になし

③ 特記事項

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

- ・生徒の個人情報に関しては職員室内で施錠できる場所での保管を徹底
- ・教員用 PC の持ち帰り禁止、USB の使用禁止について全教職員、講師に周知徹底している

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

特になし

②今後の改善方策

特になし

③特記事項

- ・成人式でのヘアメイク
- ・徳島県美馬市にて地域活性化のため実施されたヘアメイクショー内でのヘアメイクボランティア
- ・西中島地区の盆踊りにて浴衣の着付けやヘアメイクの実施